

## 令和5年度 第5回健康づくり支援部会 議事録

日 時：令和6年2月21日（水）19時25分～19時50分

場 所：市役所本庁舎10階 第4会議室

### ○会議次第

- 1 開会
- 2 議事
  - (1) 前回会議の議事録（案）の確認
  - (2) 令和6年度健康推進課関係予算（案）について
  - (3) その他
- 3 閉会

### ○出席委員

吉村典子委員、鳴海亮委員、久保竹雄委員、金須俊雄委員、  
川田真裕美専門委員、角谷巍啓専門委員、酒井國夫専門委員、高玉裕子専門委員

### ○事務局

健康保険室 佐藤室長  
健康保険室健康推進課 長谷川係長、吉田主査、横山主任

### ○会議録

#### 事務局

こんばんは。

ただ今から、令和5年度第5回健康づくり支援部会を開会いたします。

本日は健康づくり支援部会、委員9名中、8名のご出席をいただいております。出席人数が委員の過半数に達していますことから、部会は成立しております。

本日は、吉田部会長がご都合により欠席となっております。帯広市健康生活支援審議会条例施行規則第3条第7項により、副部会長に議事の進行をお願いいたします。

#### 議事（1）

##### 副部会長

それでは会議に入らせていただきます。最初に、議事（1）前回会議の議事録（案）の確認について議題といたします。この議事録は、この場でご確認いただいた後、公開される予定となっております。議

事録につきまして、ご意見やご質問があればお願いします。

(特になし)

## 副部長

議事録は了承されたものといたします。

## 議事(2)

### 副部長

次に、(2) 令和6年度健康推進課関係予算(案)について、を議題といたします。事務局から説明願います。

### 事務局

それでは、令和6年度の健康推進課関係予算(案)につきまして、説明させていただきます。資料は2、3になります。

資料2から説明させていただきます。令和6年度の健康推進課関係予算(案)ですが、予算額と対前年度の増減額の推移を記載しております。

まず、表の右側に、令和6年度予算を記載しております。この中で、職員給与費へ振替分として、Bと記載している欄があります。こちらにつきましては、令和2年度から、地方公務員法・地方自治法の一部改正により、これまでの嘱託職員等のうち、多くの職員が、会計年度任用職員に移行していることから、健康推進課で予算措置しておりました報酬等の予算を、職員給与費として、人事課所管の予算に移行しております。また、令和4年度からは短時間勤務の会計年度任用職員の報酬等も職員給与費に移行されたことから、こちらのB欄を設けております。

左側の事業区分と、右側の令和6年度予算額につきましては、A欄をご覧いただきたいと思えます。

まず、上から、保健衛生総務費が4億3千856万円、そのうち主なものでは、保健衛生推進費775万9千円、公衆浴場対策費1千257万5千円、看護師等養成機関確保対策費8千128万7千円、帯広厚生病院運営費補助事業費2億1千万円などとなっております。

前年度と比較して、増減の主なものとして、保健衛生推進費については、健康づくりガイドの作成に必要な紙代の単価が上がったことなどにより増となっているものです。

なお、妊婦・乳幼児健康診査費、母子保健相談指導費、心の発達支援事業費、食育推進事業費については、令和2年度より組織再編のため健康推進課関係予算として計上しておりますが、従前より児童育成部会で説明していることから当部会においては、予算額のみお示しすることとさせていただきます。

続きまして、夜間急病診療費は、2億561万2千円となっております。内訳といたしましては、休日夜間急病センターの管理運営費が9千753万1千円、在宅当番や二次救急医療などの救急医療対策費が1億808万1千円となっております。

前年度と比較して、増減の主なものとして、休日夜間急病センター管理運営費については、新型コロナ

新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入が減少している分に対し、これまでは補正予算により支援を行ってきましたが、令和6年度については、影響が見込まれる分の指定管理料を当初予算として計上していることから増となっているものです。

また、救急医療対策費のうち、二次救急医療については、これまで帯広市が単独で費用を負担して事業を実施してきましたが、管内町村住民の利用割合が約4割を占めている状況を踏まえ、十勝全体での支援体制について協議を進めてきた結果、令和6年度からは事業を実施する帯広市に対して、各町村が利用割合に応じた費用を負担することで、十勝全体で支援を行うこととなったことから増となっているものです。

続きまして、予防費は、総額で5億4千80万1千円となっており、主なものといたしましては、がん検診・健康診査費1億4千652万8千円、予防接種費3億1千278万2千円、感染症予防費7千792万8千円、健康教育費246万5千円などとなっております。前年度と比較して、増減の主なものとして、予防接種費については、四種混合ワクチンとヒブワクチンを合わせた五種混合ワクチンの定期接種化に伴う接種回数の減などにより減となっているものです。感染症予防費については、高齢者の肺炎球菌ワクチンに係る接種対象者の経過措置終了に伴う接種者数の減などにより減となっているものです。

最後に、保健福祉センター費として7千162万6千円を計上しております。こちらは、保健福祉センターの管理運営に要する費用です。保健福祉センター整備費については、温水ボイラーの改修工事に要する費用を計上しているものです。

以上、総事業費は、A欄の歳出予算合計12億5千659万9千円となります。

続きまして、資料3「令和6年度 健康推進課関係事業の概要（案）」をご覧ください。こちらは、資料2の内訳となります。

左側の、保健衛生総務費は4億3千856万円で、医療体制の整備や医療の人材不足への対応のほか、公衆浴場対策、健康まつりや健康づくりのボランティアの養成、育成など市民の保健予防の推進のための予算となっております。

中央の夜間急病診療費は2億561万2千円で、休日や夜間における急病患者に対する診療体制を確保するため、初期救急を担う在宅当番医のほか、二次救急医療や休日歯科診療などの体制確保に必要な経費を計上しております。中央下の保健福祉センター費は7千162万6千円で、保健福祉センターの管理運営に要する費用を計上しております。

右側の予防費は5億4千80万1千円で、胃がん、肺がん、子宮がん、乳がん、大腸がんの5大がんの検診のほか、各種健康診査、予防接種や感染症予防、結核予防など、疾病の予防、早期発見のための経費と、健康相談、健康教育、訪問指導の経費を計上しております。説明は以上でございます。

## 副部長

ただいまの事務局説明につきまして、何かご質問やご意見はございますか。

## 専門委員

保健福祉センター費が、令和2年度から増えているのはなぜなのか、また、保健福祉センター整備費に記載している「皆増」の読み方と、意味を教えてください。

## 事務局

保健福祉センター費の増は、温水ボイラーの改修にかかるものです。「皆増」は「かいぞう」と言い、次年度の予算で初めて計上する項目のため記載しています。

## 専門委員

健康増進センター管理費が計上されていますが、これは、大正・川西健康増進センターの賃貸料ということですか。

## 事務局

市の財産であるので、電気や水道代など施設の管理費となります。

## 専門委員

大正農業者トレーニングセンターとは違うのですか。

## 事務局

大正農業者トレーニングセンターは、大正支所に併設されている施設で、コミュニティセンターと同じような扱いのものです。大正健康増進センターは、支所から少し南側にあり、主にゲートボールで活用されています。同じような施設として川西にもあります。

## 委員

保健衛生総務費に係る妊婦・乳幼児健康診査費や、予防費に係る健康相談、訪問指導の予算額が減っていることは、こどもや人口の減少などが関係しているのでしょうか。

## 事務局

妊婦・乳幼児健康診査費が減少しているのは、委員からお話があったように対象数が減っているということです。健康相談費や訪問指導費の減は、実績に応じて燃料費を調整したものです。

## 委員

出生数や出生率はどれだけ下がっているのですか。もしこれらが上がった時には予算も上がるものなのか見通しがわかるのであれば教えてください。

## 事務局

これまで1年間で1,000人くらいの出生数でしたが、現在は1,000人を切っている状況です。妊婦一人当たりの健診費用は8万6千円ほどとなっているので、その状況によって減となっています。

## 委員

エキノコックス症の感染は増えているのか、わかれば教えてください。

## 事務局

エキノコックス症検診で見ると、令和3年度に新聞で報道されたときにはいつもよりも多い人数でしたが、毎回の検診では1回に10名弱の受診者となっています。

ここ数年で陽性者は出ていません。

## 委員

帯広の森に狐がととも増えています。エキノコックス症は発症までに10年以上かかるものなので、若い人が心配ですし、感染に気を付けないといけないと思います。

## 事務局

外に行ったときには手をしっかり洗うなどの感染予防について、ホームページや広報などで啓発しているところです。

## 委員

エキノコックス症は狐の糞が要因になります。狐がいなくても糞があれば感染する可能性があります。

ここで話しているのか、話が少し変わりますが、最近アライグマが増えています。アライグマと狐の関係はどうなのでしょう。

## 事務局

帯広市のホームページで確認したところ、令和4年度のアライグマの捕獲数は65頭となっています。狐は有害鳥獣、アライグマは特定外来生物という違いがあります。

## 委員

最近、大空地区などでアライグマがすごく増えています。新聞で記事になっていましたが、十勝では1,600頭くらい捕獲していると聞いているので、狐とアライグマの関係はどうなのか、駆除などの予算も増やしたりする必要はあるのでしょうか。

## 事務局

わたしたちの役割としては、エキノコックス症対策として予算を持ち検診等を行っています。狐の駆除となると別な課が担当になりますが、担当とは連携していきたいと思っています。

## 専門委員

保健衛生総務費の中の食育推進事業費について、食育は農政課でも取り組んでいると思いますが、その内容とは違うのでしょうか。

## 事務局

農政課の食育では地産地消などの考え方も多く含まれてくると思います。保健衛生総務費の食育推

進事業費は料理教室などの予算ですが、食育の目的や向かうところ是一緒で、私たちも食育推進計画に関わっており、けんこう帯広 21 でも食育は関連しているところであり、連携を図りながら取り組んでいくものと考えております。

## 委員

保健・介護一体的実施について、少し詳しく教えてください。

## 事務局

主に高齢者を対象とした事業になりますが、介護予防と保健事業をそれぞれ進めるのではなく連動させ、帯広市では糖尿病が多いという課題のもと、ハイリスクアプローチとして糖尿病に着目した取り組みとし、介護高齢福祉課、国保課、地域福祉課と、情報共有や連携を図りながら進めているものです。

## 議事（3）

### 副部会長

次に(3)その他について、委員の皆様から何かありますか。

(特になし)

## 事務局

皆様におかれましては、今年度、第三期けんこう帯広 21、帯広市生きるを支える推進計画のご審議をいただき誠にありがとうございました。2月14日の厚生委員会での報告が終わり、現在は成案に向けて事務作業を進めております。冊子として出来上がりましたら、あらためて皆様に送付させていただきますと思います。

計画の策定に関連して、本日の部会に先立って開催された健康生活支援審議会において、今まで自殺対策計画は「けんこう帯広 21」と一体的に策定していましたが、第二期自殺対策計画では、「帯広市生きるを支える推進計画」として別の計画としたため、審議会条例の施行規則及び運営要領について所要の改正を行い、本部会での所掌事項として、生きるを支える推進計画を追加したことをご報告させていただきます。

これからも皆様のご協力をいただきながら、計画を推進してまいりたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

次回の開催については、健康生活支援審議会の日程が決まりましたら、皆様にご案内いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 副部会長

以上で予定されている議事は終了いたしました。本日は、これで閉会といたします。お疲れ様でした。